

問3 令和4年度中の看護職員の採用募集方法について（複数回答可）

最も採用につながったものに◎、その他採用募集に利用したもの全てに○を、▼(リスト)より選択してください。

① 法人事業所のホームページ	② ナースセンターへの登録	③ ハローワークへの登録
④ 合同就職説明会への参加	⑤ 学校訪問	⑥ 求人誌・広告
⑦ 紹介業者	⑧ 職員の紹介(口コミ)	⑨ 看護学生の実習受け入れ
⑩ その他(具体的に: _____)		

問4 令和4年度中に貴施設で取り組まれた看護職員の労働環境改善、労働時間管理及びメンタルヘルスケア対策等について、「1. 既に実施中」「2. 実施していない」のうち該当する方に○を、▼(リスト)より選択してください。

取組んでいる看護職員の労働環境改善等	1. 既に実施中	2. 実施していない
1. 法人内保育所の設置		
2. 夜間保育の実施		
3. 病児・病後児保育の実施		
4. 法人内学童保育の実施		
5. 育児休業の実施		
6. 産前産後休業の実施		
7. 看護休暇制度の実施		
8. 介護休暇・休業制度の実施		
9. 労働時間管理の責任者(労働時間管理者)の明確化		
10. 看護業務を改善するためのICTを導入している		
11. ICTスキルに関する研修の実施		
12. 複数名訪問等のための看護補助者の増員(看護職員の負担軽減等に関わるもの)		
13. 看護職員と他職種との業務分担の推進		
14. 多様な勤務形態の導入		
15. 短時間正職員制度の導入		
16. 年次有給休暇の計画的付与制度の導入		
17. 1) メンタルヘルスケアに関する相談対応の体制整備		
2) メンタルヘルスケアに関する研修等の体制整備		
18. 1) ハラスメントに関する相談対応の体制整備		
2) ハラスメントに関する研修等の体制整備		
19. 勤務時間外の研修参加等の体制整備(勤務・出張扱い・代休の付与等)		
20. 進学や長期研修などに伴う休職制度の導入		

上記項目以外の取り組みがあれば、記載してください。

問5

(1) 令和4年度看護職員の退職者(定年退職以外)の退職理由について、在職期間ごとに人数を入力してください。
(退職者1人につき、本人が申し立てた理由のうち、主たる理由1つ)

退職理由	在職期間							合計
	1年未満 (新卒)	1年未満 (既卒)	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	
1 結婚								
2 妊娠・出産								
3 育児・子どものため								
4 親の世話・家族の介護								
5 地理的な理由(通勤時間がかかる等)								
6 配偶者の転勤								
7 Uターン(親元に帰る、親との約束)								
8 身体上の健康上の理由								
9 精神の健康上の理由								
10 自分の適性・能力への不安								
11 1人訪問への不安・負担								
12 進学・留学								
13 免許を活かした他分野への興味・転向 (キャリアアップを含む)								
14 看護職以外の仕事に興味・転向								
15 処遇(給与・福利厚生に不満がある等)								
16 超過勤務が多い・長時間労働								
17 緊張感が持続するなどの質的な 労働負荷								
18 オン・オフが切り替えにくい								
19 職場の望む勤務体制への不適合 (オンコールなど)								
20 土・日・祝の勤務がある								
21 有給休暇が取りにくい								
22 職場の都合(事務所の統廃合等)								
23 職場のIT化(電子カルテ・タブレッ トの導入など)								
24 経営者の方針との不一致								
25 上司・同僚等職場の人間関係								
26 契約期間満了								
27 その他								
→具体的な内容を記入ください								
合計								

(2) 問5(1)の結果を踏まえて、自施設の退職者の特徴と考えられることがあればお書きください。

★★問6, 問7は令和3年度分の情報に基づいて回答してください。

問6 令和3年度の常勤看護職員の1人あたりの年次有給休暇の平均取得日数・平均取得率を入力してください。
(育児休業、産前産後休業、看護休暇制度、介護休暇・休業制度は含みません)

① 平均有給休暇取得日数

$$\frac{\text{令和3年度に全常勤看護職員が実際に取得した有給休暇日数の合計}}{\text{令和3年度の全常勤看護職員数}} = \frac{\text{#DIV/0!}}{\text{#DIV/0!}} \text{ 日}$$

② 平均有給休暇取得率

$$\frac{\text{令和3年度に全常勤看護職員が実際に取得した有給休暇日数の合計}}{\text{令和3年度に全常勤看護職員に新規に付与された有給休暇日数の合計 (前年度からの繰越分を除く)}} \times 100 = \frac{\text{#DIV/0!}}{\text{#DIV/0!}} \%$$

問7 令和3年度の常勤看護職員の超過勤務時間について1人あたりの月平均時間をご記入ください。

超過勤務…月平均1人あたり 時間 (小数点第1位まで) 呼び出しも含む

問8 自事業所での定年退職後の看護職員の雇用について、回答欄に数字および○を▼(リスト)より選択してください。

項目	回答欄			
1 定年年齢 (再雇用を含む雇用可能な最高年齢)	<input type="text"/> 歳	(<input type="text"/>) 歳		
2 1年間における定年退職後の雇用人数	<input type="text"/>	あり → 定年年齢 (<input type="text"/>) 歳	<input type="text"/>	なし
3 他施設での定年退職後の看護職員を雇用(あり・なし)	<input type="text"/>	あり → 年齢 (<input type="text"/>) 歳	<input type="text"/>	なし
4 他施設を定年退職し採用した看護職員数(令和4年度)	<input type="text"/>	人		

5 定年後の看護職員の確保における課題について、該当するもの全てに○を、▼(リスト)より選択してください。

① 金銭面(給与が高額)	<input type="text"/>	② 知識(ICT関連を除く)	<input type="text"/>	③ 体力面	<input type="text"/>	④ ITC等扱いが不慣れ	<input type="text"/>
⑤ 上司・同僚との人間関係	<input type="text"/>	⑥ 利用者との人間関係	<input type="text"/>	⑦ 看護技術・業務経験(即戦力の人材を希望)	<input type="text"/>		<input type="text"/>
⑧ その他(具体的に: <input type="text"/>)							

6 定年後の働き方における対応が可能なもの(あてはまるものに○を▼(リスト)より選択し、数字は入力してください。)

① 勤務日希望への対応(週の勤務日数) → ありの場合、1週間当たり	<input type="text"/>	あり	<input type="text"/>	なし		
	<input type="text"/>	日～	<input type="text"/>	日		
② 時間勤務希望への対応	<input type="text"/>	あり	<input type="text"/>	なし		
③ 半日勤務への対応	<input type="text"/>	午前	<input type="text"/>	午後	<input type="text"/>	なし
④ 短時間勤務への対応	<input type="text"/>	あり	<input type="text"/>	なし		
⑤ 土・日・祝日休みへの対応	<input type="text"/>	あり	<input type="text"/>	なし		
⑥ オンコールなしへの対応	<input type="text"/>	あり	<input type="text"/>	なし		

問9 認定看護師についてお答えください

1) 自事業所における認定看護師の人数を分野ごとにご記入ください

認定看護分野	延人数	認定看護分野	延人数
① 救急看護・集中ケア/クリティカルケア		⑪ 慢性心不全看護/心不全看護	
② 緩和ケア・がん性疼痛看護/緩和ケア		⑫ 皮膚・排泄ケア	
③ がん化学療法看護/がん薬物療法看護		⑬ 感染管理	
④ 訪問看護/在宅ケア		⑭ 糖尿病看護	
⑤ 不妊症看護/生殖看護		⑮ 新生児集中ケア	
⑥ 透析看護/腎不全看護		⑯ 手術看護	
⑦ 摂食・嚥下障害看護/摂食嚥下障害看護		⑰ 乳がん看護	
⑧ 小児救急看護/小児プライマリケア		⑱ 認知症看護	
⑨ 脳卒中リハビリテーション看護/脳卒中看護		⑲ がん放射線療法看護	
⑩ 慢性呼吸器疾患看護/呼吸器疾患看護			

問10 特定行為研修についてお答えください。

1) 自事業所における特定行為研修の受講状況についてお答えください。

※ 修了者や受講者がいない場合はゼロを記入ください。

① 修了者 人

② 受講中・令和5年度以降受講予定 人

2) 修了者のうち、貴施設で活用している特定行為区分(延人数)について、お教えてください。

特定行為区分の名称	延人数	特定行為区分の名称	延人数
① 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整		⑳ 創傷に対する陰圧閉鎖療法	
② 侵襲的陽圧換気の設定の変更		㉑ 創部ドレーンの抜去	
③ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更		㉒ 直接動脈穿刺法による採血	
④ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		㉓ 橈骨動脈ラインの確保	
⑤ 人工呼吸器からの離脱		㉔ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	
⑥ 気管カニューレの交換		㉕ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
⑦ 一時的ペースメーカーの操作及び管理		㉖ 脱水症状に対する輸液による補正	
⑧ 一時的ペースメーカーリードの抜去		㉗ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	
⑨ 経皮的心肺補助装置の操作及び管理		㉘ インスリンの投与量の調整	
⑩ 大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整		㉙ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
⑪ 心嚢ドレーンの抜去		㉚ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
⑫ 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更		㉛ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
⑬ 胸腔ドレーンの抜去		㉜ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
⑭ 腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）		㉝ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
⑮ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換		㉞ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
⑯ 膀胱ろうカテーテルの交換		㉟ 抗けいれん剤の臨時的投与	
⑰ 中心静脈カテーテルの抜去		㊱ 抗精神病薬の臨時的投与	
⑱ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		㊲ 抗不安薬の臨時的投与	
⑲ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去		㊳ 抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	

3) 特定行為研修の受講費負担についてお答えください。

① 施設が全額負担		② 施設が一部負担		③ 本人負担	
-----------	--	-----------	--	--------	--

4) 特定行為研修を受講するにあたり課題となっていることについて選択してください。(複数選択可)

① 受講希望者がいない		② 遠方のため受講できない		③ 医師の理解や協力を得にくい	
④ 受講費や旅費等の費用負担		⑤ 特定行為の活用方法がわからない		⑥ 受講中の代替職員の確保	
⑦ その他(具体的に：)					

5) 指定研修機関及び協力施設の申請意向についてお教えください。

① 指定研修機関 ② 協力施設 → ③ 協力施設の場合年間定員数 名
(申請中含む)

問11 看護職員確保に関する事等について、自由にご記入ください。

※ 兵庫県医務課・兵庫県看護協会ナースセンターで実施している本調査にご協力いただきましてありがとうございました。

次へ

※ 兵庫県看護協会「看護職確保定着・離職防止推進委員会」では、好事例集を作成することを検討しております。各施設で好事例がありましたら、是非記載していただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

問12 看護職員の確保に関して効果があった例があれば記載してください。

問13 看護職員の定着に関して効果があった例があれば記載してください。

ご協力ありがとうございました。